

授業づくり研修会

岡山大学教育学部附属特別支援学校

今年度も本校において、授業づくり研修会を企画・実施しています。その様子をご紹介します。

第1回目は、5月18日（土）に本校校長の仲矢明孝による講義「特別支援教育における授業づくり」を行いました。自立活動の視点から、先生の今までの実践について聞くことができました。会は終始なごやかな雰囲気の中、意見交換なども行われました。

第2回目は、6月22日（土）に本校職員の岡本教諭が「図工・美術」について、実技を通じた研修を行いました。ペアで話し合いをしながら、それぞれが相手の行きたい場所を絵で表現しました。



第3回目は、岡山大学教授の大竹先生の講義でした。テーマは、「授業における‘If～, Then～’について考える」でした。実際の授業実践のビデオを視聴しながら、エピソード記録の考え方やまとめ方について教えていただきました。参加者からは、「目に見えないことを言語化していくことの大切さを学んだ」「自分の考えや感覚の裏づけをしていただいたようで、元気になった」といった声を聞きました。



夏休みをはさみ、9月14日（土）に、4回目の会を持ちました。テーマは「遊びの指導について」。本校職員の角原教諭が自身の実践を紹介しながら、「遊びの指導」について、様々な視点で提案していきました。参加者が大変多く、他県からの参加もありました。グループでの話し合いの時間や発表・質疑の時間もとり、参加された方々が熱心に意見交換をしました。アンケートでは、「遊びの指導」に関する悩みや気付きなどのご意見を多くいただきました。



いかかでしょうか？この研修会はそれぞれの講師の実践に基づいた提案を行い、参加者と一緒に考えるというスタンスで行っています。「いいお話が聞ける」というよりも、テーマについて自分自身の実践を振り返ったり、意見交換を通じて考えを深めたりするものです。

後半も5回計画しています。興味のあるテーマの研修会にぜひご参加ください。